

ほっとチーム

特定非営利活動法人

ミャンマーファミリー・クリニックと

菜園の会(MFCG)

「命の架け橋」ミャンマーを医療と菜園で笑顔に〜というコンセプトを掲げ、2012年に特定非営利活動法人として発足したミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会。ミャンマーと日本の活動の様子についてお話を伺いました。

国際医療に携わってきた医師が

ミャンマーの自立のために立ち上げた団体

荒川区東尾久に事務所を置く「ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会」は、ミャンマーでの医療活動と家庭菜園の支援を行う団体です。代表を務める内科医の知名仁子(なち・さとこ)さんは、国際緊急医療支援団体・国境なき医師団の一員として、ミャンマーでの医療援助に携わり、2008年9月に任意団体「ミャンマーファミリー・クリニック」を設立。その後、2012年6月に特定非営利活動法人として認証され、「ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会」(以下MFCG)が正式に発足しました。

軍事政権だったミャンマーが民政化になるまで交渉を重ね、今年1月から本格的に始動したミャンマーでの活動と日本での取り組みについてお話をいただきました。

地道な活動の繰り返しによって 少しずつ、健康への知識が定着していく

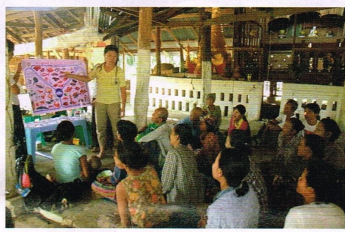
国境なき医師団として緊急医療に従事してきた知名さんは、ミャンマーで巡回診療を行うなかで、薬で一時的に良くなったも、栄養不良の患者さんがまた悪くなって戻ってきてしまうことを目の当たりにし、医療だけを提供しても人の命は救えないことに気付いたと言います。そして知名さんは、「医者として聴診器一本で診るといふことを教えてくれた国であり、医者は私の天職なんだ」といふことを教えてくれた国であるミャンマーは、私にとつて第二の国なんだと確信。ミャンマーの人たちと同じ目線に立ち、生活に深く関わりながら、内科医として長期的な医療活動を行いたいという熱い思いから



ミャンマーの人たちと同じ目線に立ち、生活に深く関わりながら、内科医として長期的な医療活動を行いたいという熱い思いから

MFCGを立ち上げたそう

MFCGは「巡回診療」「手洗い・うがいや歯磨きなどの「保健衛生指導」、栄養を取るための「家庭菜園の支援」という3つを通して、栄養や健康に対する知識のないミャンマーの人たちが自ら問題意識を持ち、改善していける仕組みを作ることがミッションとしています。



©MFCG

現地ではミヤウンミヤという町に活動拠点を置き、12の村を巡回し、寺院などを借りて診療を行っています。活動している地域は、水も電気もなく、雨水を沸かして飲むほど生活環境が悪く、脚気で亡くなる人も。脚気は薬で簡単に治りますが、彼らには薬を手に入れる手段もなければ、お金もありません。そこで、生活のなかで脚気の原因となるビタミンB1を摂れるように「お米のとぎ汁を飲みましょ」といった指導をしていくのですが、はじめは誰も耳を傾けません。日本人と彼らでは、健康の定義も違つたため、理解してもらつたのは難しいのです。そのため健康をお金に換算し、「あなたが病気になるたらいくらかかりますか?病院への往復代いくら、先生に診てもらつたらいくらで、薬代いくらかかりますか」といふ日給が約200円で病気の間は日給も入ってこないといふくらい損しますか?損失が出ないためにはどうすればいいですか?」というように理解を促していくのだそうです。

今年8月には、家庭菜園の講義と実習を3日間ずつ行い、きのこなどの野菜作りを実践。不足している栄養を補つための自家消費のほか、きのこなどは高く売れるため、収入源にもなります。「ご飯を手で作って手で食べるので、ご飯の前には手を洗つ。トイレが作れたらハエが来ないように糞をする。雨期の間にバケツに溜めた飲み水にポウチがわかない

ように糞をする。そういうことをひたすら言い続け、少しずつ定着し、私たちが来たことによって生活が変わった健康についての知識を得る機会が与えられて嬉しい、と言われるのが一番」と活動の喜びを語る知名さん。現地スタッフは知名さんとミャンマー人のドクター、ナース、エイドとドライバーの4名だけ。活動を継続していくにはもっともってマンパワーが必要で、生活するだけが精一杯のミャンマーの人たちをサポートするには、まだまだ資金が足りないというのが実情です。

ミャンマーの人たちの健康な生活のために

MFCGの事務所は荒川区東尾久8丁目にあります。ここでは事務局長の鈴木信子(すずき・のぶこ)さんが運営を統括し、広報、会計などはすべて運営パートナーと呼ばれる約30名のボランティアの方がお手伝いされています。その中には荒川区の方々もいます。

毎月第2土曜日に運営パートナーたちが集まる定例会議は、東尾久8丁目町会会館を借りて行っていることもあり、町会の世話役の方が鉛筆をくださったたり、お店にチラシを置いてくださったりと、町内でも応援していただいている様子があがります。

知名さんは代表として荒川区のアクト21や社会福祉協議会などで度々講演を行っているほか、区内の方にももっと知っていただきたいと7月にはボランティアの方たちと「つばりマルシェ」にも参加。販売したミャンマービールやお土産物も好評で、6月にテレビで活動の様子が放送されたこともあり、それを見てMFCGを実際に見たいと足を運んだほうが多いのだとか。

今後の活動としては、12月から保健衛生士の育成コースを実施します。手を洗うことがなぜ必要なのか、お米のとぎ汁をなぜ飲んだほうがいいのかなどを学び、それを他人に伝え、広めることが目的です。いま活動している地域で成功例を重ねそれがミャンマー全土で広まり、最終的には私たちがいなくなっても、ミャンマーの人たちが健康でいきいきと生活できるようになればいいなと思つて来ます。そして、日本の運営パートナーの方たちが活動を楽しみながら、Win Winの関係を楽しんでいただければいいですね」と話してくださいました。

MFCGは11月14日(土)の「あらかわ福祉まつり」荒川総合スポーツセンターで開催に参加します。興味のある方はぜひお出かけください。

MFCGの運営パートナーや活動支援に

興味のある方は事務局へご連絡ください。

特定非営利活動法人

ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会事務局

お問い合わせ先 電話:03-6807-7400

Email: myanmarfcg.info@gmail.com

ホームページ: http://mfcg.jp/

おくらむ収納から、ゆとり収納へ!

トランクルーム 貸し納戸

安心な管理人常駐!管理費・共益金ナシ!!天井高3mで収納抜群!!

2階 割安ブース完成!!

3階 若干空きあり!!

詳しくはホームページをご覧ください

※空室はお電話にてご確認ください。

引越しの合間に家具の収納として、シーズンオフの生活用品やスポーツ用品の収納に。

泰山堂トランクルーム 東京都荒川区荒川4-48-3
TEL03-3802-8888 (8:00~19:30) FAX03-3805-2690

http://www.okubopp.co.jp/

忘年会ご予約承り中

【最大宴会人数60名様までご利用いただけます】

とらふぐ祭り

期間: 11月23日(月・祝)まで

とらふぐフルコース

寿コース

通常価格 8,500円(税込9,180円)

6,800円(税込7,344円)

無料送迎バスをご用意いたします。

グラスドリンク人数分プレゼント

木曽路南千住店 荒川区南千住5-6-15
TEL: 03-5850-5567